オーバーウォッチ日本代表を応援しよう！

GAMEZINE®

RTS CULTURE MAGAZINE

Vol.36
AUG.2026
FREE



オーバーウォッチ ワールドカップ2026

日本代表 特別インタビュー

Nico

Qki ／ Rrmy ／ KSG ／ epic ／ FiNN ／ Ydot



GAMEZINE®

Vol.36
AUG.2026

Contents

P4 “レースゲームの甲子園”『アオハルGP』開催
冨林勇佑選手 インタビュー

P6 『オーバーウォッチ』とは？

P8 OWWC2026 大解剖！

P13 Nico（日本代表キャプテン）
2度目の“日の丸”を背負い、ベスト8の壁に挑む

P20 Qki / Rrmy / KSG / epic / FiNN / Ydot
世界へ挑む、日本最強の布陣

P26 日本代表 リレークエスチョン

P27 OWWC2026 注目チーム名鑑



Cover
Nico

Cover Photo
Sasuke Aoyama

編集記

2017年以来のオーバーウォッチワールドカップ特集です。
前回は、Aktmさんに表紙を飾っていただきました。

あの時のオーバーウォッチ日本代表に憧れて、
2018年から競技委員会に入り、日本代表活動を支えています。

今回はソーシャルリードとして、この雑誌を企画しました。
オーバーウォッチ日本代表を一緒に応援してください！

日本代表といえば、サッカーワールドカップの日本代表、
惜しくも2026年大会ではブラジルに敗れ、ベスト32という結果に。
しかし、最後まで見応えある試合をしてくれましたね。

夏です。皆さん体調を崩さないように気を付けてください。

GAMEZINEは常時メンバー募集しているので
いつでもXのDMから応募をお待ちしています。

編集長 みずイロ

Editor in Chief
Masumi “ みずイロ ” Fukuda

Editorial Lead
Shuji Oshima

Staff
Axl, Sasuke Aoyama, Ayano Yokomori, Kento Motegi
Kanta Okumoto, Mei, Kyo Aizawa, Shuhei Sakamoto
Kanta Seki, Daizu, Naoki Miyake, Sakaguchi

Comic
nacchicchi

Design
Sasuke Aoyama

Special Thanks
株式会社ゲート

発行
GAMEZINE 編集部



GAMEZINE

なっちっち
Xnacchicchi

WWW.GAMEZINE.JP

※本誌掲載の写真、記事の無断転載および複写を禁じます。

高校生による e-Motorsports選手権 開催！

supported by グランツーリスモ

アオハル GP

今、きみのアオハルが走り出す！



2026.8.15 配信

視聴は公式 YouTube から！



特別インタビュー

車好き・ゲーム好きの高校生たちが輝く“レースゲームの甲子園”『アオハル GP』が今、熱い！

2026 年 8 月 4 日、全国の高校生が集い、熱い情熱と技術をぶつけ合う e-Motorsports『グランツーリスモ』の頂点を決める舞台『アオハル GP』が開催された。
同じ学校のメンバー 3 名でチームを組み、高校 No.1 の座をかけた白熱の最高峰レースが繰り広げられたほか、サブコンテンツとして、プロ選手を中心としたエキシビションマッチも実施された。
今回は、リアルとバーチャルの両方で活躍するレーシングドライバーの冨林勇佑選手と、『アオハル GP』の主催者の方に、若者たちへ向けた『グランツーリスモ 7』の魅力から、大会に懸ける熱い想いを聞いた。（取材日：7 月上旬）



Gran Turismo 7: TM & © 2025 Sony Interactive Entertainment Inc. Developed by Polyphony Digital Inc.

免許がなくても 200km/h の世界へ！『グランツーリスモ』の魅力

――まずは冨林選手にお伺いします。冨林さんが思う『グランツーリスモ』の魅力を教えてください。

冨林：「年齢・性別・状況に関係なく、誰もが全力で世界の車を楽しめること」ですね。
このゲームなら免許が無くても、普段運転ができない環境の人でも、誰も体験したことのないような「時速 200km の世界」を体感できる点も魅力です。

“レースゲームの甲子園”が、新たな主役を輝かせる

――今回開催された高校生大会『アオハル GP』ですが、冨林さんはこの大会の意義をどう感じていますか？

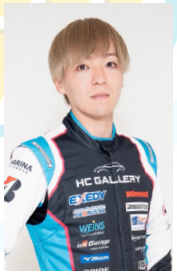
冨林：一言で言えば、“レースゲーム版の甲子園”だなと感じています。僕が高校生だった頃は、学校生活において「ゲームが上手い」「車が好き」というのは、日の目を浴びるような特技ではありませんでした。でも今は、その特技を活かして、普段の学校生活になかなか馴染めずにいる子も含め、様々な人が表舞台で輝ける。『アオハル GP』は、そんな素晴らしい大会だと思っています。

――主催者の視点からは、この「学校名を背負って戦う」という仕組みにどのような想いを込められたのでしょうか？

主催：まさに冨林さんがおっしゃってくださった通りです。ただの個人戦ではなく「学校名」を背負い「チーム」で挑むことで、同じ学校の仲間や同じ都道府県の人たちが「自分の地元の学校だから応援しよう！」という親近感や帰属意識を持って盛り上がれる仕掛けにしたい、という想いで『アオハル GP』を開催しています。
また、自動車ディーラーとしての想いもあります。自分の殻に閉じこもりがちな学生たちが、『グランツーリスモ』をきっかけに学校内で仲間を見つけ、コミュニティを作ってほしい。そして、普段から車の話をして、もっと車ファンが増えてくれたら嬉しいですね。

――本日は熱いお話をありがとうございました。高校生たちの激戦を見せてくれた『アオハル GP』、そしてこれからの e-Motorsports 界の発展を楽しみにしています！





冨林勇佑 Profile

1996 年生まれ

5 歳から『グランツーリスモ』に親しみ、2016 年には『グランツーリスモ SPORT』の世界大会で優勝。その後リアルレースへ参戦し、『SUPER GT』など国内最高峰の舞台で活躍。バーチャルとリアルの両方で活躍する二刀流レーサー。

主催 WEINS ウエインズトヨタ神奈川

公式WEBサイトから最新情報をチェック！

OVERWATCH®

オーバーウォッチとは？



基本プレイ無料！

『オーバーウォッチ』は基本プレイ無料の進化し続けるライブ・サービス。時を経てさらに進化した独自の PvP バトルをさまざまなプラットフォームのフレンドと一緒に楽しもう。しかも、プレイを通じて無料でゲーム内通貨を獲得できるため、課金せずともバトルパスを入手することが可能だ。

ヒーローを操作し、5vs5 で戦うチームアクションゲーム！



2016 年にリリースされた『オーバーウォッチ』は、近未来を舞台としたチーム制のヒーロー・シューティング・ゲーム。
現在登場する個性豊かなヒーローはなんと 50 人以上。お気に入りのヒーローで、5vs5 の白熱した戦いを楽しむことができる。
味方とのチームワークを最大限に発揮することが勝利のカギだ。

多彩なゲームモード

ゲームモードは一つではない。エリアポイントを確保したり、ペイロードやロボットを運んだり……。さらには期間限定で開催される特別なアーケードモードなど、『オーバーウォッチ』一つで多彩なゲームモードを存分に楽しむことができる。



オーバーウォッチ最大の特徴！ 3 つの“ロール”

タンク
TANK



体力が最も多く、味方を守りながら前線を上げることを得意とするロール。
チームに 1 人しかいない重要な存在。

ダメージ
DAMAGE

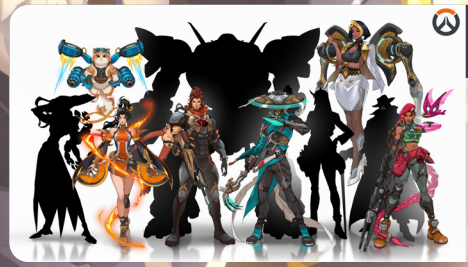


ダメージを与えることに秀でたロール。
味方の支援を受けつつ、
相手を撃破する攻撃的な役割。

サポート
SUPPORT



回復を得意とするロール。
味方の強化や相手への妨害をして、
チームをサポートする。



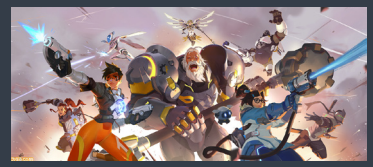
続々と追加されるヒーローたち！

今後も人や動物、ロボットといった多種多様な新ヒーローが続々と追加される。戦線をリードするもよし、敵を奇襲するもよし、仲間を回復するもよし。きっと自分のプレイスタイルに合った、ピッタリのヒーローが見つかるはずだ。

魅力溢れるシネマティックムービー

ゲームだけでは語りきれない、ヒーローたちの過去や一面を知ることができる短編アニメーションも『オーバーウォッチ』の魅力。まるで本物の映画のようなクオリティの高さに、深く魅了されてしまうことだろう。





ゲーム名：オーバーウォッチ® / メーカー名：Blizzard Entertainment, Inc.
対応 PF：Xbox Series X|S、PlayStation 4/5、Nintendo Switch、PC
配信日：2023 年 8 月 11 日（金） ※『オーバーウォッチ 2』としての配信日
価格：基本プレイ無料
ジャンル：チーム制のヒーロー・シューティング・ゲーム

『オーバーウォッチ』公式サイト

©2026 Blizzard Entertainment, Inc.

OWWC2026 OWWC2026

オーバーウォッチワールドカップ

OWWC2026 大解剖！

『オーバーウォッチ』eスポーツは今年で誕生10周年。このアニバーサリーイヤーに、『オーバーウォッチワールドカップ2026（以下、OWWC）』が帰ってきた！3年ぶりの開催となる今大会をより楽しく観戦するために、『OWWC』を大解剖します！



クラブの絆から、国家の誇りへ。

『OWWC』では普段同じクラブチームで戦う仲間が「敵」となり、ライバル同士が「味方」として背中を預け合う。『Overwatch Champions Series（以下、OWCS）』がクラブチームの戦いであるのに対し、『OWWC』は「国籍」を基準にしてチームが結成される国別対抗戦だ。

みずイロ
日本代表
ソーシャルリード

『OWWC』は選手にとってもビッグイベントであり、憧れの舞台。
この大舞台は、2017年から『オーバーウォッチ』競技シーンの火付け役を担ってきました。

世界への道のり

日本代表は2026年5月末に開催されたアジアオンライン予選でパキスタン・香港を撃破。
全勝の韓国に続いてグループ2位で予選を突破し、8月20日から始まるグループステージへの進出が決定している。

オンライン予選 Asia Online Qualifier
OVERWATCH WORLD CUP ASIA
5.29 - 5.31

グループステージ Group Stage
OVERWATCH WORLD CUP
8.20 - 8.23

決勝トーナメント Grand Finals
BLIZZCON 2026 ANAHEIM, CA
9.12 - 9.13

日本は「死の組」グループAに、上位2チームが決勝トーナメントへ

2019年王者であり前回2023年大会で負けているライバルチームでもあるアメリカ、2023年準優勝の中国、そしてEUオンライン予選を1位で通過したスウェーデンの3チームがいるグループAに入った日本。
この過酷なグループの上位2チームが、9月に開催される『BlizzCon 2026』で行われる決勝トーナメントに進出する。

- A：JPN / USA / CHN / SWE
- B：KSA / AUS / MEX / GBR
- C：CAN / GER / THA / ESP
- D：FRA / KOR / DEN / COL

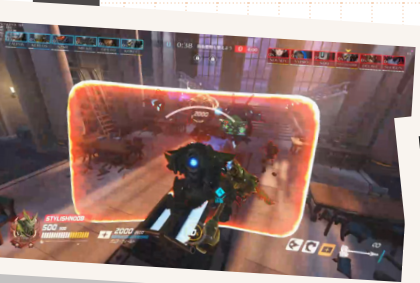
編集部独自調査！グループステージ進出チーム評価ランキング

有識者が全16チームを各ロール10点満点で採点。平均点を算出し、合計点を元にランキングを作成した。
【監修】おやつ、gappo3、是以いとま、Supreme、TQQ、hoshimi、Mihawk（五十音順、敬称略）

順位	グループ	国	DAMAGE	TANK	SUPPORT	合計
1	D	韓国				30
2	A	アメリカ				26.7
3	B	サウジアラビア				26.4
4	A	日本				24.6
5	B	イギリス				23.6
6	A	スウェーデン				23
7	C	ドイツ				22.4
8	A	中国				22.1
9	D	フランス				21.2
9	D	デンマーク				21.2
11	B	オーストラリア				20.7
12	C	スペイン				19.9
13	C	タイ				19.3
14	C	カナダ				18.9
15	B	メキシコ				16.9
16	D	コロンビア				16.2

オーバーウォッチ 日本代表の歴史

	2016	2017	2018	2019	2023	2026
ユニフォーム	 NO IMAGE					 COMING SOON
ロスター	XQQ delave StylishNoob Novady Nypro ShoGuN	Aktm ta1yo deartn Jasper Yoz CLAIRE	Dep ta1yo AmeKen SamuraiD kenmohororo Sabagod CLAIRE	hoshimi ta1yo ten SamuraiD kenmohororo HaKu Xeraphy	Nico Qki Mihawk KSG Plankton mint Qloud	Nico Qki Rrmy KSG epic Ydot FiNN
競技委員会		StanSmith 太田 桂 江尻 勝	Jerophilip XQQ mizuiro	mizuiro Youk add0ne	mizuiro Pain Supaga	Howard Pain mizuiro
大会戦績	**予選敗退** 【アジアパシフィック予選】 < グループ B> vs 香港 2-0 ○ vs タイ 0-2 ●	**予選敗退** 【シドニー予選】 < グループ D> vs スペイン 3-1 ○ vs ベトナム 4-0 ○ vs フィンランド 2-2 ● 【プレイオフ】 vs オーストラリア 2-3 ●	**予選敗退** 【韓国・仁川予選】 vs ロシア 1-3 ● vs 台湾 3-1 ○ vs 韓国 0-4 ● vs フィンランド 0-4 ● vs 香港 4-0 ○	**予選敗退** 【予選】 < ブラケット C> vs イタリア 2-3 ●	**ベスト12** 【アジアパシフィック予選】 < グループ A> vs フィリピン 2-0 ○ vs 台湾 2-0 ○ vs インドネシア 2-0 ○ vs 香港 2-0 ○ vs 韓国 0-2 ● 【グループステージ】 < グループ D> vs フランス 2-0 ○ vs サウジアラビア 0-2 ● vs アメリカ 0-2 ●	**グループステージ進出** 【アジア予選】 < グループ A> vs 韓国 0-3 ● vs パキスタン 3-0 ○ vs 香港 3-0 ○











Overwatch Japan National Team History

ZETA DIVISION BUSINESS CLAN™

ZETA DIVISIONがプロデュースする会員制ビジネスコミュニティ

「ZETA DIVISION BUSINESS CLAN」とは、ZETA DIVISION の活動やビジョンに対して、ご賛同をいただいた企業の皆様による会員制の組織です。会員の皆様には、Z 世代への企業 PR や esports 市場への理解促進、新規ビジネス機会の創出などにご活用いただける様々な特典をご提供します。

詳細はこちら

入会特典

- ZETA DIVISION 公式WEBでの企業ロゴ掲出
- 特別ギフトBOXの進呈
- ZETA DIVISION 主催イベントへのご招待
- その他多数 **特典アリ!**

https://zetabusinessclan.com/

Interview

Nico

Qki ／ Rrmy ／ KSG ／ epic ／ FiNN ／ Ydot

オーバーウォッチ日本代表 特別インタビュー

2 度目の“ 日の丸 ”を背負い、ベスト 8 の壁に挑む

前回大会『オーバーウォッチ ワールドカップ 2023』では、強豪フランスを破りながらもサウジアラビアとアメリカに敗れ、あと一歩のところでベスト 8 進出を逃した日本代表。

あれから 3 年。2026 年大会で 2 度目の日の丸を背負いキャプテンを務める Nico をはじめ、Qki、Rrmy、KSG、epic、FiNN、Ydot の 7 名にインタビューを実施した。

プロへの道を歩み始めたきっかけ、日本代表として戦う覚悟、
そして長年立ちはだかる“ ベスト 8 の壁 ”を打ち破る準備はできているのか。
世界への挑戦を前にした彼らの胸の内に迫る。

Photo : Sasuke Aoyama, mizuiro, GANYMEDE / Text : Shuji Oshima / Edit : mizuiro



Interview

Nico

オーバーウォッチ日本代表 キャプテン

ゲームに囲まれた少年時代 そして『オーバーウォッチ』との出会い

――現在、日本のトップシーンで活躍されている Nico 選手ですが、ゲームを始めたのはいつ頃だったのでしょうか？

幼少期に親に買ってもらった NINTENDO 64 から、ゲームをプレイし始めました。『スーパーマリオ 64』や『スターフォックス 64』をよくやっていましたね。そこから、中高生になったタイミングで、父親と兄の影響で自作 PC を組むようになって、FPS に出会いました。

――ご家族の影響で PC を始めたんですね。そこから、どのようにして『オーバーウォッチ』と出会ったんでしょうか？

元々 Blizzard のゲーム『ハースストーン』というオンラインカードゲームをプレイしていたんです。その『ハースストーン』プレイヤーの友人から、「『オーバーウォッチ』っていうゲームがでるらしい」と言われ、『オーバーウォッチ』をプレイし始めました。

一度は退いたプロの道 胸に残り続けた熱意と、覚悟の復帰

――『オーバーウォッチ』と出会ってから、プロゲーマーになろうと意識したタイミングはいつでしょうか？

『オーバーウォッチ』をプレイし始めて、1, 2 週間程経った頃でした。「このゲームめっちゃ面白いぞ。これ俺プロになれんじゃね？」と思ったんですよね。それからは、プロ志望でめちゃめちゃゲームをプレイして、アマチュアチームを渡り歩いて、ランクも今でいうチャンピオンくらいまで上げました。

――プレイし始めて 1, 2 週間程でプロを意識していたとは驚きです。プロゲーマーになってから、Nico 選手のチーム遍歴について教えてください。

始めは、友人に「プロのトライアウトを受けてみないか」と声をかけてもらったのがきっかけで、Naturals Hokkaido というプロチームに所属しました。そこで活動を続けていく中で、いろんな方に自分のことを知っていただけるようになったんです。そのタイミングで、CYCLOPS athlete gaming がフレックス DPS を募集していて、僕が日本で一番レートが高いこともあり、トライアウトを受ける機会をいただいて、所属することになりました。

――当時は学生だったかと思います。プロゲーマーとして活動することについてのご家族の反応はいかがでしたか？

やっぱり当時はお金の問題や将来的な不安もあったのと、e スポーツが出始めた時期だったので、正直親の了承は得られませんでした。それでも、この道で生きたいというのは、ずっと親に伝えていましたね。今となっては、時代の変化や e スポーツ業界の成長もあって、「応援してるよ」とか「世界大会見てるよ」とか言ってもらえるようになりました。親に認めてもらえるというのは、嬉しいことでもありながら、プレッシャーでもありますね。

―― CYCLOPS athlete gaming 脱退後は、一度就職されたとお聞きしました。

そうですね。当時は学生だったのもあり、プロゲーマーを続けていく覚悟が決まらなくて、学校を卒業した後は就職して働いていました。でも、自分の心の中に、この先もプロゲーマーを続けたいという気持ちがあったので、ずっともやもやしながら暮らしていたんです。そしたら、『オーバーウォッチ 2』が出ることになったので、そのタイミングで復帰しようと決意し、『オーバーウォッチ』を愛し続けることができるメンバーを集めました。復帰した当初は、到底食べていけないお給料だったので、今後は『オーバーウォッチ』だけで生活していきたいという一心で、動画投稿や配信をここ 3 年間ほど必死に頑張って続けています。

――日本のトップを走りながらも動画投稿や配信を欠かさない姿勢から、プロへの強い熱量が伝わってきます。では、プロゲーマーに復帰してからの活動について教えてください。

復帰してからは、とにかく経験を積み、自分たちの実力を見せるためにパシフィックやオーストラリアなど、様々なリージョンの大会に出場していました。プロゲーマーとして活動していくからには、他の人に見てもらわないといけないし、今後の『オーバーウォッチ』シーンのためにも、何かしら実績を残して伝えていかないと、新しい若い選手も生まれて来ないので、とにかくアピールできることは全てやってきましたね。





憧れの世界の舞台へ
初の“日の丸”を背負った戦い

――『オーバーウォッチ』シーンの未来のことも考えながら、活動を続けてこられているんですね。ここからは、『オーバーウォッチワールドカップ（以下、OWWC）』についてお聞きします。『OWWC 2023』で初めて日本代表に選出された時の心境を教えてください。

本当に嬉しかったことを今でも覚えていますし、やっと『OWWC』が帰ってきたという気持ちもありました。そのタイミングで、自分が日本代表に選ばれたっていうのが嬉しくて、自分にとって『OWWC』は本当に大事な存在になっています。

――『OWWC 2023』では、フランスに勝利したものの、惜しくもグループステージで敗退という結果（ベスト12）でした。この結果を、当時はどのようにして受け止めましたか？

ベスト8に入って『BlizzCon 2023』で試合をすることが最大の目標でしたが、結果としては目標は達成できず、自分たちの中でも満足はできませんでした。けど、自分たちの全力は出し切って、応援してくれている皆さんに見せれるものは見せれたと思っているので、あの頃は本当によく頑張ったなと思っています。

あと、2023年は『Overwatch Contenders 2023 Asia Pacific』や『Overwatch League（以下、OWL）2023 - Spring / Summer Stage Opens』（※1）などのアジア大会で韓国チームに勝利できず、その先の世界大会に進むことができていませんでした。そのため、日本が世界で見た時に、どの位置に居るのかがわからなかったんです。でも、『OWWC 2023』を通して、世界のプレイヤーの実力や日本の位置を直接感じることができたので、その点は凄く良かったですね。

（※1）
『OWL 2023 - Spring / Summer Stage Opens』
プロリーグ『OWL』が2023年に実施したオープン予選。それまで固定のプロチームしか出場できなかったリーグの門戸が開かれ、これを勝ち抜いたアマチュア等のチームがプロリーグのチームに挑戦する権利を得られた。



Interview
Nico
オーバーウォッチ日本代表 キャプテン



あの日の悔しさを糧に
リベンジに燃える世界への再挑戦

――今回、2 度目の日本代表に選ばれた時の率直な気持ちについて教えてください。

「俺がやるしかねぇ」って感じましたね（笑）。選んでいただいたからには、日本を背負って頑張りたいと思っています。『OWWC 2023』では、とにかく練習し続けてがむしゃらに勝ちに行くぞという感じでしたが、今回は、今までの経験をどのように活かして、どんな対策をしたら良いかというのをしっかりと考えながら練習をし、本番に望みたいと思っています。

――『OWWC 2026』日本代表のメンバーは複数のチームから選出されています。「抜かりないチーム」と個人配信でおっしゃっていましたが、どのような部分からそのように感じましたか？

日本トップレベルの実績を持っており、パフォーマンスも非常に高いメンバーが集まっているところですかね。あと、今回は FiNN さんが日本代表に来てくれていて、今までの経験から得た知識をたくさん共有してもらえる所も、今の日本代表の良い所だと思っています。

――普段戦っているライバルが、今回は同じチームの仲間として、『OWWC 2026』に出場されます。一緒にプレイしたからこそ、気づく仲間のすごさは何かありますか？

『OWL』の上位で活躍してきた FiNN さんの知識量や細かいコールは凄いなと感じています。今、FiNN さんは EMEA で活動していることもあって、アジアに無い戦い方を教えていただいています。あと、若いプレイヤーなので、メタの変化についていくのが早かったり、自分では思いつかないような新しい発想を伝えてくれたりするので、そういった若い意見もどんどん取り入れて、頑張っていきたいと思っています。

――他地域ならではの知識や戦略を得ることで、日本代表もより強く成長していくように感じます。今年の日本代表の中で、Nico 選手の注目メンバーはどなたでしょうか？

KSG ですね。元々強いことは皆さん知っていると思うんですけど、ここ 1 年の成長率が本当に凄まじいと思っています。VARREL の中で、TOPDRAGON さんや Sley さんに教えてもらっている時も、吸収が早い選手だと感じているので、本当に『OWWC 2026』での活躍も楽しみな選手ですね。

2 度目の“日の丸”を背負い、ベスト 8 の壁へ挑む

――2023 年の時は、日本の『オーバーウォッチ』シーンの火付け役になりたいとおっしゃっていました。今年は日本代表の活動を通して、どのような事を成し遂げたいと思っていますか？

“成り”たいですね（※ 2）。将棋でいう駒をひっくり返すようなイメージです。2023 年の時は「将棋の駒を作りたい」という気持ちでした。今年はその作った駒を進めて、相手を倒して“成る”事ができたら良いなと思っています。
（※ 2）成る：将棋における「成る」とは、敵陣に入ることで駒を裏返し、より強力な駒になることを指す。

――今まさに火が付いている状態だと感じています。『OWWC 2026』を勝ち進み、“成る”ためにも、Nico 選手が警戒している国はどこでしょうか？

韓国、サウジアラビア、アメリカの 3 カ国ですね。韓国は、ミスがなく、構成の有利不利をしっかりと突いてくる印象があります。本当に『オーバーウォッチ』が上手いチームですね。
サウジアラビアは、ルシオ・キリコ構成のような、早いテンポの構成が得意で、ULT 回しやミクロの部分で勝っていくチームだと思っています。
アメリカは、選手層も厚いですし、開催国がアメリカというのもあって、現地のファンがたくさん応援しに来ると思っています。そういった開催国のパワーって本当に侮れないと思っていて。その影響でより強くなることがあると思っているので、警戒している国の一つですね。
今年は、「良い勝負ができたら良いな」といったチャレンジャーではなく、絶対に倒す気持ちで勝負したいと思っています。

――最後に、応援してくれているファンの方へメッセージをお願いします。

いつも応援ありがとうございます。2023 年は、めちゃめちゃ努力して頑張ったんですけど、ベスト 12 という惜しい結果になってしまいました。この 3 年間、ずっと『オーバーウォッチ』をプレイし続けて、経験をたくさん積んで、この舞台に帰ってくることができました。ベスト 8 はもうマスト。『BlizzCon 2026』で、試合をしている姿を皆さんにお見せしたいと思っているので、この先も応援よろしくお願いします。



オーバーウォッチ日本代表 キャプテン

Nico



Nico Profile

1999 年 2 月 3 日 生まれ
滋賀県出身

VARREL 所属。日本代表のキャプテンを務めるダメージプレイヤー。VARREL のリーダーとして、何度も“日本一”に輝いた実績を持つ。好きなヒーローはフレイヤ。彼のアグレッシブなプレイスタイルから生まれる「ニコニコカーニバル」が世界の舞台で炸裂するか、期待が高まる。

日本代表の屋台骨・Qki が思い描く「最高の結末」とは

オーバーウォッチ日本代表

Qki

――まず、プロゲーマーとして活動を始めた経緯を教えてください。

2019 年に、所属していた D81 FortuNa がプロチームになったことが始まりでした。『オーバーウォッチ』を続けているうちに気づいたらプロになっていた、という感覚です。今年で活動 8 年目に入ります。

――プロになってから、取り組み方に変化はありましたか？

プロになった当初はランクやスクリムをこなすだけでしたが、2021 年の DONUTS USG（現 VARREL）に加入してから意識が変わり始めました。当時は競技シーンの熱量が下がり、国内プロは自分たちだけの状況でした。「このままただ大会に出るだけでは何も変わらない」と危機感を抱き、他の選手を参考に練習への取り組み方を見直し、プロとしての自覚を強く持つようになりました。

――具体的に、どのような選手から影響を受けたのでしょうか？

練習に関しては、韓国の選手の実力とプレイに影響され、自分もとにかく練習に取り組むよう心がけました。プロとしての立ち居振る舞いは、Nico さんを参考にしています。プロ意識の高い人が身近にいたおかげで、今の自分が形成されたと思います。

――『オーバーウォッチワールドカップ 2026』について伺います。2 大会連続の日本代表選出となりましたが、率直な気持ちはいかがですか。

初選出された 2023 年は舞い上がっていましたが、今年は 2 回目ということもあり、選ばれた時はひと安心しました。前回の経験を他の選手たちにも共有し、落ち着いて戦えたらと思っています。

――チーム内では年長組にあたりますね。

はい、上から 2 番目の年長組です。無駄に年をとっていると思われたくないので、年上らしく落ち着いて、チームメンバーとコミュニケーションを取っていきます（笑）。

――今大会で警戒している国やチームはありますか？

特定の国や選手を警戒しているということはありません。グループステージから当たる全チームに対して、万全の対策をして戦いたいと思っています。

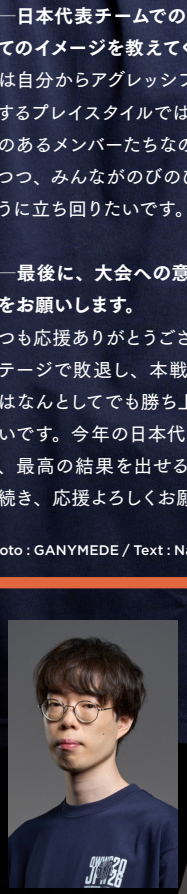
――日本代表チームでのご自身の役割や、立ち回りについてのイメージを教えてください。

僕は自分からアグレッシブに動いたり、チームに要求したりするプレイスタイルではないです。今年の日本代表も実力のあるメンバーたちなので、自分の仕事をしっかりこなしつつ、みんながのびのびとやりたいプレイを実現できるように立ち回りたいです。

――最後に、大会への意気込みとファンの方へメッセージをお願いします。

いつも応援ありがとうございます。前回大会ではグループステージで敗退し、本戦出場の機会を逃しましたが、今年はなんとしてでも勝ち上がり、アメリカの舞台で優勝したいです。今年の日本代表は歴代最強だと思っているので、最高の結果を出せるようにみんなで頑張ります。引き続き、応援よろしくお願いします。

Photo : GANYMEDE / Text : Naoki Miyake / Edit : Shuji Oshima



Qki Profile

1998 年 2 月 20 日生まれ
長野県出身

VARREL 所属。日本代表チームを支える縁の下の力持ち。VARREL として幾度となく日本一を獲得しており、『オーバーウォッチワールドカップ』では、2023 年・2026 年と 2 大会連続で日本代表に選出された。ホラー映画鑑賞が趣味で、私生活では料理のレシピ調べや掃除をこなす一面も。

チームを支える“パパ”として Rrmy、世界への挑戦

オーバーウォッチ日本代表

Rrmy

――はじめに、プロゲーマーになった経緯について教えてください。

最初からプロを目指していたわけではなく、『オーバーウォッチ』を続けていたら流れでプロになった、という感じでした。2018 年頃にご縁があってプロ活動を始めて、「やるからには本気でやろう」と思い、競技に真剣に向き合うようになりましたね。

――日本代表に選ばれた今の心境を教えてください。

めちゃくちゃ嬉しかったですね。ただ、前回は最終選考で落選してしまったので、「またここで落ちるんじゃないか」という不安もありました。それでも今回は無事に日本代表に選出されたので、本当に嬉しかったです。

――今回の日本代表でどのような役割を担いたいと考えていますか？

そうですね、実は以前から一緒にプレイした経験があるメンバーや交流のあるメンバーが多く、チームの雰囲気はとても良いです。そんな環境だからこそ、最年長として私は“パパ”のような存在となり、みんなが気持ちよくプレイできるようにコミュニケーションを取りながら、チームを支える役割を担っていきたいと考えています。

――ゲーム内ではどのようなことを意識してプレイしていますか？

自分以外の 4 人が 100％のパフォーマンスを発揮できる状況を作ることです。自分が目立つよりも、味方が全力を出し切れる環境を整えることを意識しています。チーム全体の力を最大限引き出せるプレイヤーでありたいですね。

―― Qki 選手も「みんながやりたいことをできるように動きたい」という話をされていました。

Qki さんも周りから“ママ”って呼ばれているので、考え方が近い部分はあるのかもしれませんね（笑）。

――次に、Rrmy 選手が『オーバーウォッチワールドカップ 2026』で特に意識している国や地域を教えてください。

やっぱり、韓国を意識していますね。個人的には HeeSang 選手とぜひ戦ってみたいです。憧れの選手ではありますが、自分の実力をぶつけて彼を越えたい気持ちもあります。あとは、サウジアラビアですね。『オーバーウォッチワールドカップ 2023』の優勝国ですし、今回も上位争いに絡んでくるチームだと思います。世界のトップを目指す以上、意識しないわけにはいかないですね。

――最後に、『オーバーウォッチワールドカップ 2026』への意気込みとファンの方へのメッセージをお願いします。

今回の日本代表は、本当に良いメンバーが揃っています。最近では韓国人選手と一緒に戦う環境も増えて、日本人選手全体のレベルが大きく上がりました。その中でも今年の日本代表は過去最高クラスのメンバーだと感じています。今回の日本代表、最高のメンバーと精一杯頑張りますので、皆さん応援よろしくお願いします。

Photo : GANYMEDE / Text : Kanta Seki / Edit : Shuji Oshima



Rrmy Profile

1996 年 7 月 29 日生まれ
埼玉県出身

REJECT 所属。チーム最年長のベテランプレイヤー。『OWCS 2025 Japan Stage 2』では REJECT の 2 位入賞に貢献。持ち前の献身性で味方がプレイしやすい戦況を作り出すチームの支柱。好きなヒーローはファラ。趣味はネットサーフィンと筋トレで、最近のベストバイは炭酸水。

VARRELでの成長が生んだ揺るぎない自信
日本を背負う「唯一の盾」として世界に挑む

――まずは KSG 選手が『オーバーウォッチ』のプロゲーマーになった経緯ついて教えてください。
上達するために続けていたら、いつの間にかプロゲーマーになっていた、という感じでした。「どうやったらもっと上手くなれるんだろうな」と思って、友人に相談してみたところ「チームに入ると実力を上げられるよ」と教わったのでチームに加入したのですが、そのチームがプロチームになったことで自然とプロゲーマーになったというのが経緯です。

――では、『オーバーウォッチワールドカップ 2026』日本代表に選出されたときの率直な気持ちを教えてください。
2023 年に引き続き、今回も選んでいただけてとても嬉しかったです。前回よりも確実に僕の実力は上がっていると思っているので、今回の大会でもっと実力を証明して、日本代表を応援してくださっている皆さんに熱い試合を届けられたらなと思います。

―― 2023 年の頃と比べて、具体的にどのような部分が成長したと感じていますか？
自信を持ってプレイできている部分ですね。当時はオフライン会場で試合を行うときに、何を信じてプレイすれば良いかわからなくて、闇雲にプレイしてる部分がどこかあったんです。でも、今は自分がイメージしているプレイを実際に試合中に行えているので、自信を持って試合に望めている実感があります。

――その自信はどこから来ているのでしょうか？
TOPDRAGON さんと Sley さんが一緒にプレイして、選手目線で「こうしてくれたら俺もこうできるからめっちゃ良いんだよね」みたいなフィードバックをしてくれるので、それが自分の成長への一番の刺激になっています。

――次に、KSG 選手が『オーバーウォッチワールドカップ 2026』に出場される国や地域の中で、意識しているチームはどこでしょうか？
韓国とタイですね。韓国代表は強豪チームである「Crazy Raccoon」のメンバーを中心に構成されているので、これまで以上に自分の強さをより高めた状態で、挑戦できるようにしたいと思っています。タイ代表は、以前オーストラリア地域の『Overwatch Contenders』でよく戦っていて、ライバル関係でもあった Lumi さんや HyVision さん達が選出されているので、負けられません。

――ありがとうございます。最後に、『オーバーウォッチワールドカップ 2026』への意気込みと、応援してくれているファンの方へのメッセージをお願いします。
前回大会から、よりパワーアップした姿を皆さんに見せれるように、これからも努力し続けていきたいと思います。応援よろしくお願いします。

Photo : GANYMEDE / Text : Shuji Oshima / Edit : mizuiro



KSG Profile

2003 年 7 月 27 日生まれ
神奈川県出身

VARREL 所属。現在、国内 4 連覇中のタンクプレイヤー。屈指のピックプールを誇り、日本代表のタンクを一人で背負っている。マイブームは無料パズルゲームの『カラータイル』。海外遠征には、お湯に溶かしてすぐ飲める粉末緑茶を欠かさない。

2 度目のトライアウトから世界の舞台へ
縁の下で支える日本代表の生命線

――日本代表での役割については、どのように考えていますか？
ゲーム内ではメインサポートを担当していて、基本的な役割は縁の下で支えるライフラインのようなものだと思っています。なので、目立つことはなくともチームへの影響力のあるプレイを目指しています。コミュニケーションの面では、前から関係があるメンバーが多いので、自分からみんなの輪を作っていけたら良いなと思っています。

――『オーバーウォッチワールドカップ 2026』に出場している国や地域の中で、意識している、または警戒しているチームはどこでしょうか？
どこの国も警戒はしていますが、韓国とサウジアラビアはかなり強いと思っています。ヨーロッパ地域のスペインやイギリスも最近どんどん強くなっているのを感じているので、意識せざるを得ないですね。ただ、そういった警戒よりも、「戦ってみたら楽しそうだな」っていう思いが大きいです。あと、純粋にイギリス代表の FunnyAstro 選手のファンなので、同じメインサポートとして意識していますが、最近はファンではなく、1 人の選手として彼を「越えていきたい」気持ちの方が強いですね。

――越えるところも含めて活躍を楽しみにしています。では、最後に『オーバーウォッチワールドカップ 2026』への意気込みと、日本代表を応援するファンの方へメッセージをお願いします。
目の前の試合をひとつひとつしっかりと勝ち進んで、最終的に『BlizzCon 2026』で皆さんに会えるように頑張ります。応援よろしくお願いします。

Photo : GANYMEDE / Text : Daizu / Edit : Shuji Oshima

――まず、プロとしての活動を考えたきっかけについて教えて下さい。
2023 年の『Overwatch 2 FlashOps：アジアキングオブキングス 』の時に初めてオフラインで『オーバーウォッチ』をプレイする機会があって、それがすごく楽しかったんです。それまでは趣味で競技を続けて、いつか就職するつもりだったんですが、そこで面白いなと思っちゃったので、本気で取り組もうと決意しました。

―― 2023 年は惜しくも選出されませんでしたが、今年は遂に日本代表となりました。選出された時の率直な心境を教えてください。
選出されたと聞いた時は、嬉しさもありましたが、同時にホッとしました。というのも、最終選考の 1 日目は、かなり調子が悪かったので、少し不安を感じる部分があったんです。それでも、しっかりやれば選ばれるだろうと思って、2 日目も変にプレイを変えないで取り組み、無事日本代表に選んでいただけました。この時ばかりは、嬉しさよりも安心が勝ちましたね。



epic Profile

2002 年 4 月 6 日生まれ
東京都出身

MURASH GAMING 所属。『OWCS 2025 Japan Stage 2、3』では準優勝を飾り、日本代表でもメインサポートとしてチームを支える縁の下の力持ち。的確な位置取りや素早いカバーでチームを守る。最近のマイブームはラムネ。

「過去最高の成績を残す」FiNN が今の日本代表に抱く確信

――『オーバーウォッチ』に本気で取り組もう、プロを目指そうと思ったタイミングはいつでしたか？

実は、自分から「プロになりたい」と思ったタイミングってないんです。ただ純粋にゲームを楽しんでプレイしていた時、Yaki（※1）にフレンド追加されて「プロ選手のサブアカウントじゃないの？」と疑われたことがありました。それがきっかけでトライアウトを受けることになったんです。それまでは本当にただのゲーム好きで、プロゲーマーになろうという考え自体ありませんでした。

（※1）『OWL』で活躍した元プロ選手。引退後は ZETA DIVISION でコーチを務め、FiNN と共に戦った。現在は別ゲームタイトルのプロとして活動中。

――本当に偶然の出会いから始まったのですね。 現在プロとして籍を置かれている EMEA 地域での生活はいかがですか？

今はイギリスでAlphaYiと一緒に住んでいます。他のチームメイトはサウジアラビア人なので、基本的にやり取りは英語なのですが、実は AlphaYi は英語が話せなくて。だから、ゲーム内でも僕が通訳をしないといけないのが少し大変ですね（笑）。その代わりに、家では AlphaYi にご飯を作ってもらっているので、イギリスでの生活は快適で良い感じです。

――それでは今回、日本代表として参加された理由を教えてください。

日本代表競技委員会のみずイロさんから「トライアウトに参加してみないか」と声をかけていただいて、「やってみようかな」と思って参加を決めました。今回の日本代表は、これまでの歴史の中でも一番良い成績を残せるメンバーが揃っているんじゃないかと思っています。

――FiNN 選手は韓国や EMEA 地域でのプレイ経験も豊富です。そうした世界での経験や知識を、どのように日本代表のメンバーに伝えていきますか？

僕は中学校 3 年生の時からプロとして活動を始めて、ずっとこの世界に身を置いているので、これまでの経験や知識はどんどんメンバーに共有したいですね。ゲーム内での重要なコールも僕が担当することになると思いますが、周りのメンバーも全員プロなので、何回か一緒にプレイすればすぐに呼吸も合って来ると思っています。

オーバーウォッチ日本代表

FiNN

――次に、FiNN 選手が出場チームの中で、特に意識や警戒しているチーム・選手について教えてください。

やっぱり韓国とサウジアラビアですね。韓国は知り合いの選手が多くて、純粋に個人の実力も強いなと感じています。サウジアラビアは最近、国全体として急激に強くなっているし、僕が普段一緒にプレイしているチームメイトも多く代表に選出されているので、かなり警戒しています。特に ZIYAD とはプレイの相性も良く、普段からよく話す仲なので、お互いに意識し合うと思います。

――最後に大会への意気込みと日本のファンの方へメッセージをお願いします。

今回、本当に全力で頑張って、今までにない最高の成績を日本に持ち帰りたいと思います！ 時差がある中でも僕の配信を見てリアルタイムで応援してくれるファンの皆さんには、本当に感謝しかありません。いつも温かい応援をありがとうございます！

Photo : GANYMEDE / Text : Kyo Aizawa / Edit : Shuji Oshima



FiNN Profile

2003 年 9 月 19 日生まれ
愛知県出身

Geekay Esports 所属。
韓国・若手選手の登竜門『Overwatch Contenders Korea』3 度制覇、世界最高峰の戦い『OWL 2022』準優勝を成し遂げた超実力派。的確なコールでチームを牽引する。マイブームはトレーディングカードゲーム。

3 年越しの切符を掴み、憧れの日本代表へ Ydot が挑む世界の舞台

――『オーバーウォッチ』に本気で取り組もう、プロを目指そうと思ったタイミングはいつでしたか？

約 3 年前、e スポーツの専門学校に通っていた頃です。当時は別のゲームタイトルをメインにプレイしていたのですが、スクリムなどの経験を積んでいくうちに「プロとして本気でやってみたい」という気持ちが芽生えました。そこから『オーバーウォッチ』にも本格的に取り組み始めて、今に至ります。

――以前は別タイトルをプレイされていたということですが、その中で『オーバーウォッチ』を選んだ理由や、感じた魅力はどこにありますか？

1 試合の中で何回でもリスポーンできるシステムが、とてもプレイしやすかったんです。3 つのロールに分かれていて、それぞれの役割が明確なのも魅力の 1 つですね。今はサポートロールとして、味方をケアすることにやりがいと楽しさを感じています。

――Ydot 選手がサポートをプレイする上で意識していることは何ですか？

前線で戦う味方の押し引きのテンポに遅れることなく、しっかりついて行けるように意識をしています。味方のリズムを崩さずに後ろから支え、時には自分から仕掛けていく。それこそが最大の役割ですね。

――それでは今回、日本代表に選出された時の、率直な気持ちを教えてください。

選ばれたと聞いた時は言葉に表せないくらい本当に嬉しかったです！

前回大会の『オーバーウォッチワールドカップ 2023』の時は応募方法が分からなくて、挑戦すらできず、悔しい思いをしたので今回は喜びもひとしおでした。

オーバーウォッチ日本代表

Ydot

――まさに念願の日本代表選出ですね。次に、今回の『オーバーウォッチワールドカップ 2026』に出場している国や地域の中で、意識しているチームを教えてください。

フィンランド代表でタンクを担当している Vestola 選手を警戒しています。フィジカルの高さはもちろんですが、プレイを見ているとゲーム IQ の高さを感じるので、とても意識しています。

――『オーバーウォッチワールドカップ 2026』を通して得られる経験を、今後のプロキャリアにどのように活かしていきたいですか？

今回の日本代表チームの主軸である国内トップの VARREL メンバーから知識や経験をたくさん吸収し、もっと成長したいです。また、多くの人と関わる中でコミュニケーション面でも成長し、今後の個人配信やチーム活動に活かしていきたいですね。

――最後に『オーバーウォッチワールドカップ 2026』への意気込みとファンの方へメッセージをお願いします。

アメリカ・アナハイムで開催される『BlizzCon 2026』での本戦出場を目指して、全力で頑張ります！ いつも応援してくれているファンの皆さん、本当にありがとうございます。これからも応援よろしくお願いします！

Photo : GANYMEDE / Text : Kyo Aizawa / Edit : Shuji Oshima



Ydot Profile

2003 年 7 月 1 日生まれ
滋賀県出身

ENTER FORCE.36 所属。
国内大会『OWCS 2026 Japan Stage 1』準優勝の実績を引っ提げ、日本代表の背中を守る国内最高峰のサポート。ロー HP を見逃さないキルへの嗅覚と、圧倒的な生存能力に注目だ。趣味はデバイス収集。

日本代表の「ウラ側」教えます！

リレークエスチョン

Nico



Q. Nico 選手と一緒にしたいこと
A. 一緒に観光

Q. Nico 選手のプレイ、ここがすごい！
A. ソジョーンやキャスディを使っている時のワンピック率

Q. Nico 選手の意外な一面は？
A. すごく怖いイメージがあったけど、話したらフレンドリーで明るい！

Q. Nico から見た Qki
A. バーベキュー

Q. Qki から見た Nico
A. 味方と合わせたり、相手の状況を見て判断するのがうまい！

Ydot



Q. Ydot 選手と一緒にしたいこと
A. カードゲーム開封

Q. Ydot 選手のプレイ、ここがすごい！
A. メインサポート・フレックスサポートどっちもできてすごい

Q. Ydot 選手の意外な一面は？
A. 居ってたより赤ちゃんみたいな顔してる

Q. Ydot から見た FiNN
A. 一緒に OWCS 出場！もしくは服を買いに行く

Q. FiNN から見た Ydot
A. オーダーが的確で、フィジカルもめちゃめちゃいい

Qki



Q. Qki 選手の意外な一面は？
A. 冗談をよく言う

Q. Qki 選手と一緒にしたいこと
A. Rrmy 選手と一緒にしたいこと

Q. Qki 選手のプレイ、ここがすごい！
A. Rrmy 選手のプレイ、ここがすごい！

Q. Qki から見た Rrmy
A. Rrmy 選手の意外な一面は？

FiNN



Q. FiNN 選手と一緒にしたいこと
A. KSG 選手と一緒にしたいこと

Q. FiNN 選手のプレイ、ここがすごい！
A. KSG 選手のプレイ、ここがすごい！

Q. FiNN 選手の意外な一面は？
A. KSG 選手の意外な一面は？

Rrmy



Q. Rrmy 選手と一緒にしたいこと
A. ホラー映画鑑賞

Q. Rrmy 選手のプレイ、ここがすごい！
A. ファラの弾、めっちゃ当ててくる

Q. Rrmy 選手の意外な一面は？
A. OW1 の時、ウィドウメイカーでブイブイ言わせてた

Q. Rrmy から見た KSG
A. 子供な一面もしっかりある

Q. KSG 選手と一緒にしたいこと
A. 一緒に食事に行く！

Q. KSG 選手のプレイ、ここがすごい！
A. コール量がすごい

epic



Q. epic 選手と一緒にしたいこと
A. ゲーミングハウス生活

Q. epic 選手のプレイ、ここがすごい！
A. メタに合わせて色んなヒーローを練習する姿勢，ランクの練習量

Q. epic 選手の意外な一面は？
A. しょうもないノリに付き合ってくれる

Q. epic から見た FiNN
A. けっこう優しい

Q. KSG から見た epic
A.

KSG





プレイヤー名
カナ表記

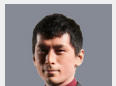
得意ヒーロー
左から得意順に掲載

ROLE
ゲーム内の役割
ダメージ　タンク　サポート

QUESTION
選手に質問！
❶ 所属チーム ❷ 生年月日 ❸ 出身 ❹ マウス DPI/ゲーム内感度 ❺ 好きなゲームモード
❻ 好きなヒーロー ❼ 好きなマップ ❽ 好きなスキン ❾ FPS を始めた年齢 ❿ 仲の良い選手 ⓫ 趣味

The CRITIQUE
公式キャスターコメント

OWCS 公式キャスターである gappo3・hoshimi の 2名が、各チームの注目ポイント・注目選手をご紹介。



gappo3

2016 年から『オーバーウォッチ』のプロ選手となり、Green Leaves のメインタンクとして活躍。2018 年には選手を引退し、キャスターやライターとして活動を始める。現在は『オーバーウォッチ』の日本公式キャスターとして解説を務めながら、「選手の記録を文章に残したい」という想いからインタビュー記事を中心にライター業にも注力している。



hoshimi

2016 年より『オーバーウォッチ』のプロ選手として活躍。Green Leaves の DPS を担当し、2019 年には日本代表として『オーバーウォッチワールドカップ』にも出場。2023 年からは『オーバーウォッチ』の日本公式キャスターとして、解説を務めている。全地域の試合に目を通しており、そこから得られた深い知識量から生まれる解説が魅力。

日本 / Japan

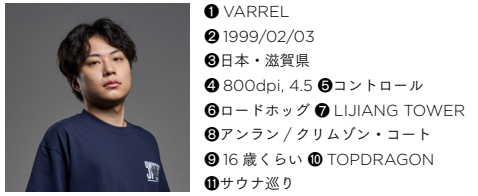
競技委員

General Manager：Howard
Head Coach：Pain
Social Lead：mizuiro

過去大会の成績

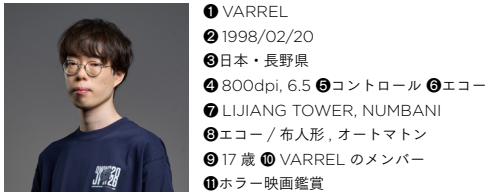
2016：予選敗退
2017：予選敗退
2018：予選敗退
2019：予選敗退
2023：ベスト 12

Nico
ニコ



❶ VARREL
❷ 1999/02/03
❸日本・滋賀県
❹ 800dpi, 4.5 ❺コントロール
❻ロードホッグ ❼ LIJIANG TOWER
❽アンラン / クリムゾン・コート
❾ 16 歳くらい ❿ TOPDRAGON
⓫サウナ巡り

Qki
クキ



❶ VARREL
❷ 1998/02/20
❸日本・長野県
❹ 800dpi, 6.5 ❺コントロール ❻エコー
❼ LIJIANG TOWER, NUMBANI
❽エコー / 布人形 , オートマトン
❾ 17 歳 ❿ VARREL のメンバー
⓫ホラー映画鑑賞

Rrmy
ロロミヤ



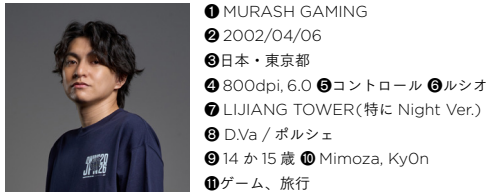
❶ REJECT
❷ 1996/07/29
❸日本・埼玉県
❹ 800dpi, 5.6 ❺コントロール
❻ファラ ❼ RIALTO
❽ファラ / イナリウス
❾ 16 歳 ❿朔メ, Ydot, epic
⓫美味しいものを食べる

KSG
ケーエスジー



❶ VARREL
❷ 2003/07/27
❸日本・神奈川県
❹ 800dpi, 7.1 ❺コントロール
❻オリーサ ❼ LIJIANG TOWER
❽ D.Va / ポルシェ
❾ 14 歳 ❿ Qloud
⓫映画、アニメ鑑賞

epic
エピック



❶ MURASH GAMING
❷ 2002/04/06
❸日本・東京都
❹ 800dpi, 6.0 ❺コントロール ❻ルシオ
❼ LIJIANG TOWER（特に Night Ver.）
❽ D.Va / ポルシェ
❾ 14 か 15 歳 ❿ Mimoza, Ky0n
⓫ゲーム、旅行

FiNN
フィン



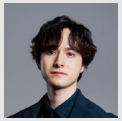
❶ Geekay Esports
❷ 2003/09/19
❸日本・愛知県 ❹ 800dpi, 5.0
❺コントロール ❻ゼニヤッタ, ハンゾー
❼ HANAMURA
❽アナ / トゥーム・ウォーカー
❾ 5 歳 ❿ Proper
⓫他のゲーム、サッカー、トレカ収集

Ydot
ワイドット



❶ ENTER FORCE.36
❷ 2003/07/01
❸日本・滋賀県
❹ 800dpi, 6.0 ❺ハイブリッド
❻ジュノ ❼ BLIZZARD WORLD
❽キリコ / 魔女
❾ 12 歳 ❿ epic, Rrmy
⓫色んなデバイスを買うこと

The CRITIQUE：Japan



VARREL 面子＋ FiNN の国際経験豊富なメンバーが揃っている。どんなメタにも適応できるサポートラインの層の厚さ。SUP/DPS それぞれの枠に 3 人使える、1 TANK KSG の安心感。注目選手は KSG。メタが読めない先の戦いではあるが、1 TANK でこれほど安心感のある選手は世界を見ても稀な存在。ヒーロープールの広さで様々な構成を用意できる。彼の懐も広いとされている。on the Planet。

韓国 / South Korea

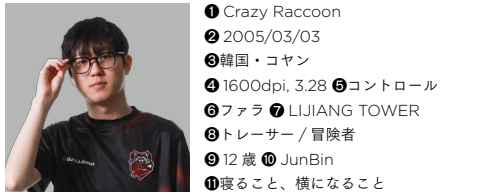
競技委員

General Manager：Pavane
Head Coach：Moon
Asst. Coach：Kong
Social Lead：ILLUSION

過去大会の成績

2016：優勝
2017：優勝
2018：優勝
2019：3 位
2023：4 位

HeeSang
ヒーサン



❶ Crazy Raccoon
❷ 2005/03/03
❸韓国・コヤン
❹ 1600dpi, 3.28 ❺コントロール
❻ファラ ❼ LIJIANG TOWER
❽トレーサー / 冒険者
❾ 12 歳 ❿ JunBin
⓫寝ること、横になること

SeonJun
ソンジュン



❶ Dallas Fuel
❷ 2006/03/23
❸韓国・アンサン
❹ 2000dpi, 5.0 ❺コントロール
❻ゲンジ ❼ LIJIANG TOWER
❽ Chengdu Hunters- ホーム / アウェイ
❾ 11 歳 ❿ Prophet
⓫アニメ鑑賞、他のゲーム

Stalk3r
ストーカー



❶ Crazy Raccoon
❷ 2003/08/26
❸韓国・チョナン
❹ 1600dpi, 3.58 ❺コントロール
❻シオン ❼ LIJIANG TOWER
❽トレーサー / ニュー・ジェネレーション
❾ 14 歳 ❿ Crazy Raccoon のメンバー
⓫寝ること

JunBin
ジュンビン



❶ Crazy Raccoon
❷ 2005/10/05
❸韓国・ソウル
❹ 800dpi, 5.0 ❺コントロール
❻レッキング・ボール ❼ LIJIANG TOWER
❽ Los Angeles Gladiators - ホーム / アウェイ
❾ 13 歳 ❿ Shu
⓫無し

MAX
マックス



❶ Crazy Raccoon
❷ 2004/11/23
❸韓国・ソウル
❹ 800dpi, 6.0 ❺エスコート
❻シグマ ❼ CIRCUIT ROYAL
❽ウィンストン / バナナ
❾ 14 歳 ❿ Crazy Raccoon のメンバー
⓫ビリヤード

CHORONG
チョロン



❶ Crazy Raccoon
❷ 2003/12/08
❸韓国・インチョン
❹ 800dpi, 6.5 ❺コントロール
❻ジェットパック・キャット
❼ LIJIANG TOWER
❽ジェットパック・キャット / パンダ
❾ 8 歳 ❿ Someone ⓫運動

Simple
シンプル



❶ Twisted Minds
❷ 2004/12/09
❸韓国・トンヨン
❹ 800dpi, 15.96 ❺ハイブリッド
❻ゼニヤッタ ❼ NEON JUNCTION
❽キリコ / K-2000 ブレイドマスター
❾ 14 歳 ❿ Heesung
⓫ゲーム

The CRITIQUE：South Korea



Crazy Raccoon を主軸とし、世界最高峰のチーム連携力とフィジカルを誇るチーム。OWWC における圧倒的優勝候補。また、普段の公式大会では見られない CR + SeonJun & Simple の化学反応にも注目したい。
注目選手は Stalk3r。世界最強の総合力を持っているため、どのようなメタにも対応できる強みがあり、プレイヤーとしてのメンタリティも強い。

アメリカ / United States of America

競技委員

General Manager：Thugnasty
Head Coach：Junkbuck
Asst. Coach：Wheats
Asst. Coach：Casores
Social Lead：JAG

過去大会の成績

2016：ベスト8
2017：ベスト8
2018：ベスト8
2019：優勝
2023：ベスト8

TR33
ツリー



❶ Team Liquid ❷ 2007/05/10
❸アメリカ・メリーランド州ロックビル
❹ 1600dpi, 1.96
❺フラッシュポイント
❻ジェットパック・キャット
❼ SURAVASA
❽ロードホッグ / レイニー・デイ
❾ 10 歳 ❿ Cjay, Vega, Ryan ⓫テレビ鑑賞

zeruhh
ゼルー



❶ Team Liquid
❷ 2006/09/27
❸アメリカ・アリゾナ州ギルバート
❹ 800dpi, 6.52 ❺コントロール
❻ゲンジ ❼ ILIOS ❽ゲンジ / 2018 Pacific All-Stars ❾ 8 歳
❿ Admiral, Lethal, Vega, Cjay, Astro
⓫食べること

Hawk
ホーク



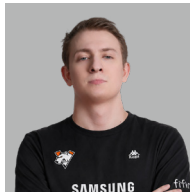
❶ Spacestation Gaming
❷ 2001/09/16
❸アメリカ・イリノイ州シカゴ
❹ 1600dpi, 2.75 ❺フラッシュポイント
❻ドゥームフィスト
❼ NEW JUNK CITY ❽シグマ / ベガ
❾ 12 歳 ❿元 OWL の選手たち
⓫無し

Infekted
インフェクティッド



❶ Team Liquid
❷ 2007/02/13
❸アメリカ・アリゾナ州ツーソン
❹ 1200dpi, 2.5 ❺コントロール
❻ラインハルト ❼ LIJIANG TOWER
❽ラインハルト / オプティマスプライム
❾ 11 歳 ❿ Vega,Cjay, PGE
⓫漫画を読むこと、サイクリング

Landon
ランドン



❶ Virtus.pro
❷ 2001/11/07 ❸アメリカ・ヴァージン諸島セント・トーマス島
❹ 1600dpi, 1.68 ❺フラッシュポイント
❻キリコ ❼ NEW JUNK CITY
❽バティスト / カモフラージュ ❾ 15 歳
❿ Lep, TR33, Checkmate
⓫カジュアルなゲームをプレイすること

Lukemino
ルークミノ



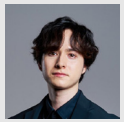
❶ Dallas Fuel
❷ 2003/02/12 ❸アメリカ・コネチカット州バーカムステッド
❹ 1600dpi, 1.7 ❺フラッシュポイント
❻バティスト ❼ SURAVASA
❽イラリー / 冥闇の子 ❾ 13 歳
❿ Admiral, Lethal ⓫ランニング、アニメ鑑賞、サイクリング、ハイキング

ultraviolet
ウルトラバイオレット



❶ Spacestation Gaming
❷ 2004/04/01
❸アメリカ・アイオワ州ダベンポート
❹ 1600dpi, 1.75 ❺フラッシュポイント
❻ウーヤン ❼ SURAVASA
❽バティスト / トロピカル ❾ 12 歳
❿ Rakattack, Infekted, zeruhh
⓫ギターを弾くこと

The CRITIQUE：USA



全員世界大会を経験している、まさに NA オールスター。攻撃的なサポート陣を揃え、どのロールでも試合を壊せる圧倒的フィジカルを持つ。間違いなく今大会の優勝候補。注目選手は Landon。サポートプレイヤーとしての完成形。特にバティスト・キリコは世界トップクラス。DPS 顔負けのダメージとキルを量産し、ミスも少ない攻守に優れたプレイが持ち味。彼が所属したチームは必ず世界大会出場レベルの結果を残すことで有名。

サウジアラビア / Kingdom of Saudi Arabia

競技委員

General Manager：Scar
Head Coach：iMOH97
Social Lead：Brain

過去大会の成績

2019：予選敗退
2023：優勝

Quartz
クオーツ



❶ Twisted Minds
❷ 2005/02/12
❸サウジアラビア・リヤド
❹ 1450dpi, 2.03 ❺ハイブリッド
❻ソジョーン ❼ KINGS'ROW
❽ソジョーン / Seoul Infernal
❾ 11 歳 ❿ LBBD7
⓫筋トレ

LBBD7
ラブダ



❶ Geekay Esports
❷ 2005/05/13
❸サウジアラビア・アブハー
❹ 1450dpi, 2.03 ❺コントロール
❻キャスディ ❼ NEW JUNK CITY
❽キャスディ / New York Excelsior
❾ 11 歳 ❿ Youbi
⓫読書

Youbi
ユウビ



❶ Twisted Minds
❷ 2002/05/05
❸サウジアラビア・ジッダ
❹ 1600dpi, 2.03 ❺コントロール
❻シンメトラ ❼ CIRCUIT ROYAL
❽初期スキン ❾ 15 歳
❿ Quartz, LBBD7
⓫ジム

TVNT
ティーヴィーエヌティー



❶ Twisted Minds
❷ 2005/10/19
❸サウジアラビア・リヤド
❹ 800dpi, 5.0 ❺ハイブリッド
❻ロードホッグ ❼ RIALTO
❽ D.Va / ポルシェ ❾ 7 歳
❿ ZIYAD, LBBD7, TM のメンバー
⓫水泳

ZIYAD
ジヤド



❶ Geekay Esports
❷ 2007/09/21
❸サウジアラビア・リヤド
❹ 800dpi, 4.0
❺コントロール ❻ D.Va
❼ LIJIANG TOWER ❽ D.Va / ポルシェ
❾ 9 歳 ❿ TVNT
⓫サッカー

SirMajed
サーマジェド



❶ Al Qadsiah
❷ 2004/01/24
❸サウジアラビア・リヤド
❹ 800dpi, 4.5
❺コントロール ❻イラリー
❼ LIJIANG TOWER ❽キリコ / 盗賊
❾ 5 歳 ❿全員
⓫無し

zox
ゾックス



❶ Al Qadsiah
❷ 2006/07/04
❸サウジアラビア・リヤド
❹ 1600dpi, 2.6 ❺コントロール
❻ジェノ ❼ LIJIANG TOWER
❽ジェノ / スペース・スター
❾ 8 歳 ❿ Escanor
⓫サッカー

The CRITIQUE：Saudi Arabia



Twisted Minds 中心で組まれた統率の取れたチーム。Quartz という主砲をいかに活躍させるかがテーマ。器用万能 LBBD7 と熟練工 Youbi、そして鬼フィジカルの 2 タンクが抜群の安定感を作り上げている。サポート 2 人が噛み合えば向かうところ敵無し。注目選手はサウジの至宝・Quartz。彼が暴れられるメタと噛み合えば、ほぼ全てのチームを破壊できるポテンシャルがある。

GAMEZINE Vol.36 AUG.2026

オーバーウォッチ ワールドカップ 特集

日本代表キャプテン Nico インタビュー

WWW.GAMEZINE.JP

